

# 令和5年度 道明寺南小学校グランドデザイン



今年度のキーワードは『 **子どもが輝く学校** 』

コロナ渦もようやく終息に向かい、社会全体が元に戻りつつあります。薄れかけた人と人とのつながりをもう一度考え直し、子どもたちどうし、教員と子ども、学校と家庭・地域、それぞれが「つながりあい」、本音で語り合える風通しの良い雰囲気をつくっていきます。子どもにとっては、**学びの基盤である「言語能力」「情報活用能力」「探究力」の育成とともに、それを支える認知能力とエンパシー（他者理解・共感する能力）を高め、自己有用感の醸成をめざします。**教員は、言葉を通して相互理解を図ることで、子どもたちにとって親しみやすく、心を開いて相談できる存在になり、子どもたちを守ります。学校は、家庭や地域に対し、開かれた教育課程の実現をめざしていきます。『つながり』を密にしながら、すべての大人が協働し、全力で、「自分を信じ、友を信じ、信頼できる社会を切り拓き、創造していく」子どもたちを育てていきます。

## 情報教育の充実

ICT 環境を充実させ、情報活用能力・プログラミング的思考を育成するとともに、「わかった」「できた」が実感できる

## 言語活動の充実

言語活動を充実させ、各教科の学びを深めるとともに、「子どもがいきいきと主体的に取り組む」子どもを育成する。

多様な人々と

**つながる**

タブレットの有効活用  
ICT を活用した授業改善

言葉を大切にし、伝えあう子を育む

みんなの思いで

探究的な見方・考え方  
未知の課題に対峙する力

**協働**

安心ルール・いいところ探し  
人間関係調整力の育成

未来社会を

**切り拓く**

## 探究活動の充実

「見方・考え方」を働かせて、学習対象と深くかかわり、問題を発見・解決したり、自己の考えを形成したり創造したりする。

## 人権教育の充実

一人ひとりを認め合い、助け合いながら伸びようとする集団づくり。自己肯定感や自己有用感を高める教育活動を推進する。

**エンパシー**（他者を想像し、相手の立場で物事を考え、捉え、理解、共感する能力）を育成する。



「**社会に開かれた教育課程**」の実現

凡事徹底とは、革新的なことや特別のことではなく、目の前の課題をしっかり捉えて「やるべきことを、当たり前のことを、徹底してやること」です。当たり前のことを当たり前にするすることで、道明寺南小学校をより良い学校にしていきます。

**凡事徹底**  
誰でもできる平凡なことを  
誰もができないくらい  
徹底して続けることを  
それ自体が非凡となる  
小さなことを  
積み重ねてこそ成功